

奈良県の経済動向の概要(令和3年11月)

別紙

統計分析課

奈良県の主要経済指標の動き(対前年同月比)

指標名	消費		生産	投資
	百貨店・スーパー 販売額【全店】	新車販売台数	鉱工業生産指数	新設住宅着工戸数
7月	↓	↓	↓	↑
8月	↓	↓	↓	↑
9月	↓	↓	↑	↑
10月		↓		
最新月の動き	▲4.9% 4か月連続で減少	▲34.6% 4か月連続で減少	1.8%【前月比】 3か月ぶりの上昇	38.8% 6か月連続の増加

指標名	投資	金融	雇用	
	建築着工床面積	国内銀行貸出残高	有効求人倍率 【就業地別】	新規求人倍率 【就業地別】
7月	↓	↓	↑	↓
8月	↓	↓	↓	↓
9月	↓	↓	↓	↑
最新月の動き	3か月後方移動平均 8か月連続の減少	▲2.0% 3か月連続の減少	▲0.01ポイント【前月比】 2か月連続で減少	0.35ポイント【前月比】 3か月ぶりの増加

↑	上昇	→	横ばい	↓	低下
---	----	---	-----	---	----

※生産・雇用は前月比

(参考)各機関の景気基調判断(総括)

	前回公表分	最新公表分
奈良財務事務所 「奈良県内経済情勢報告」	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるなか、一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直している。【7月公表分】	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるなか、一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直している。【10月公表分】
内閣府 「地域経済動向」【近畿】	新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるなか、持ち直しの動きが続いているものの、一部で弱さが増している。【6月公表分】	新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるなか、持ち直しの動きが続いているものの、一部で弱さが増している。【8月公表分】
近畿経済産業局 「管内経済動向」	足踏み状態となっている。【10月公表分】	足踏み状態となっている。【11月公表分】
日本銀行大阪支店 「関西金融経済動向」	関西の景気は、全体としては持ち直しているが、新型コロナウイルス感染症の影響により、消費への下押し圧力が強い状態にある。【10月公表分】	関西の景気は、消費への新型コロナウイルス感染症の影響が和らぐと、全体としては持ち直している。【11月公表分】
内閣府 「月例経済報告」【全国】	景気は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるなか、持ち直しの動きが続いているものの、そのテンポが弱まっている。【10月公表分】	景気は、新型コロナウイルス感染症による厳しい状況が徐々に緩和されつつあるものの、引き続き持ち直しの動きに弱さがみられる。【11月公表分】